

平成26年3月定例会大綱質疑要旨

伊東元気の会・杉本一彦

平成26年度の各予算案作成にあたり、「官民協働」の自治体運営実現に向けた基盤づくり等についての質問

1. 平成26年予算編成にあたり市長は「未来協知」の実践と言っておられるが、「官民協働」と「未来協知」の具体的な違いは何か伺う。
2. 将来の市政運営には、「官民協働」は不可欠であると考えているが、何故必要なのか等「協働」に対する市長の考えを伺う。
3. 将来的に「協働」という形の市政運営が確立されるということは、市職員の数をはじめとする経費の削減等につながると思うが、市当局としての「協働」による市政運営の体系イメージは出来ているか伺う。
4. 「官民協働」による市政運営を実現するためには、市民活動を活発化させ、市民活動を育成していくことが重要であると考えているが、市民活動を育てるという観点からどのような取り組みを考えているか伺う。
5. 本市全体での「協働」による街づくりを考えた時、市行政と市内各地域と市民団体との連携が不可欠であると考えているが、それら連携をどのように図っていこうと考えているか伺う。
6. 本市の社会福祉の観点から考えると、さらなる協働体制の充実を図って行く必要があると考えているが、年々、民生委員等の確保も厳しくなっている現況の中、これからどのような協働が必要であると考えているか伺う。
7. 本市の子育て環境を充実させるには、地域と市民団体等とのさらなる協働体制の充実を図ることが重要であると考えているが、子育て世代への子育て支援、児童・生徒らの学力向上・明るい青少年育成等の観点から、これからどのような協働が必要と考えるか伺う。